

医療生協わたり病院の 医師研修理念

「住民の医療要求にこたえ患者様の人権を守る立場で社会的に信頼される医師となるための基礎づくりをおこなう」
当院は、厚生労働省指定の「基幹型臨床研修病院」です。指導医の監督のもとに研修医（医師免許を取得した1年目、2年目の医師）が外来・病棟で診療を行っております。日本の未来を担う医師を養成するために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

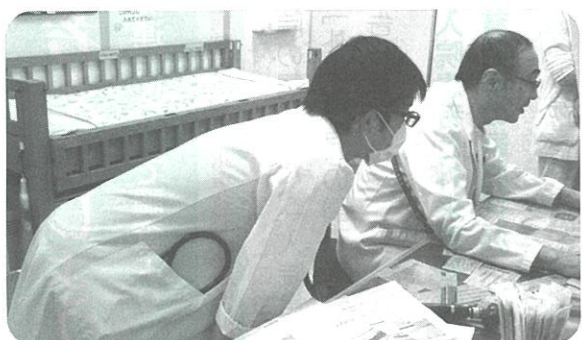
ふくしま



医療生協

2016年4月号 第372号
発行責任者 渡辺 幸夫
<http://watari-hp.jp/>

福島医療生活協同組合	TEL 024-522-1236	〒960-8141	福島市渡利字中江町66番地
医療生協わたり病院	TEL 024-521-2056	〒960-8141	福島市渡利字中江町34番地
生協いいの診療所	TEL 024-562-4120	〒960-1301	福島市飯野町字後川127-2
医療生協わたり病院附属 ふれあいクリニックさくらみず	TEL 024-559-2664	〒960-0241	福島市笹谷字塗谷地20-1



小児科研修中の国井先生と北條先生

三年目もお願いいたします
国井 綾 医師（研修二年目）
いつもお世話になっております。二年次研修医の国井です。二年目の研修は、約半年の内科研修を除く期間は、小児科研修や院外での研修でした。日赤病院での精神科、産婦人科研修では、それぞれの診療科ならではの研修でした。

二〇一五年度は三名の研修医が入職し、二年目の研修医と合わせて四名となりました。このような体制になるのは二〇〇八年以来のことです。また一段と医局が賑やかになりました。地域の皆様の温かい励ましやご協力をいただきながら、研修を頑張っております。

研修医の二年



研修医同士でカンファレンス

三年目からは総合診療専門医をめざして引き続きわたり病院を中心に勉強させていただきます。微力ではありますが、総合診療専門医という新しい分野で何ができるのか、悩みながら頑張りたいと思います。これからもよろしくお願いたします。

一年間医療生協わたり 病院で研修して

木村 純 医師（研修二年目）

医療生協わたり病院での研修が始まってはや一年がたとうとしています。長いようで短い一年でした。日々学ぶ事がたくさんあり、上級医の先生方や病院のスタッフの皆様から様々な事を教えていただき徐々にできる事も増えてきました。また、いろいろ悩み苦しんでいるときに優しく手をさしのべていただき本当に感謝しています。先生方やスタッフの皆様方に支えられて育てられてきた二年間だと感じました。まだまだ医者として、人間として未熟な部分が多くあり日々努力し精進していこうと思えます。



木村先生と佐藤祐治先生
腰椎硬膜外麻酔用シミュレーターをつかった研修

三保先生と渡部先生
なんか楽しそう



患者さんに育てられて

三保恵里 医師（研修二年目）

わたり病院で医師としての第歩を踏み出して早二年。二言で表せば、必死の二年でした。毎日が学ぶことだらけで自分の未熟さを感じ続ける日々でもありました。わたり病院の研修の特徴は「主治医」であれということが徹底されていることにあり、そのおかげで、責任の重さに苦悩することもあれば、心の底から感動できるような出会いの数々を経験できた二年であつたと感じています。患者さん一人一人との出会いが私たち研修医を育ててくださっていると感じています。患者さんへの情熱にあふれるスタッフに囲まれ育てていただいていることに感謝が尽きません。

わたりがホーム

村井馨菜英 医師（研修一年目）

私は「県北病院共同プログラム」を選択していて、わたり病院研修でありながら他院での研修が長期間あり、ホームシックでした。わたり研修は患者さん一人一人に向き合いやすい研修スタイルで、その点で贅沢でした。主治医制で、各職種に垣根が低くて、かかりつけ病院として地域の最前線にあるというのは他の研修病院にはそうそう無い環境です。幸せも辛さも濃かったです。一方で私自身も（先輩医師や多くのみなさんに）向き合ってもらっていて、私にとっていい研修にさせてもらっています。来年度もわたりにはいない期間もありますが、よろしくお願いたします。



実習に来た医学生に熱く語る村井先生

子どもの貧困を考えましょう

「貧困と子どもの健康の関連」について調査より

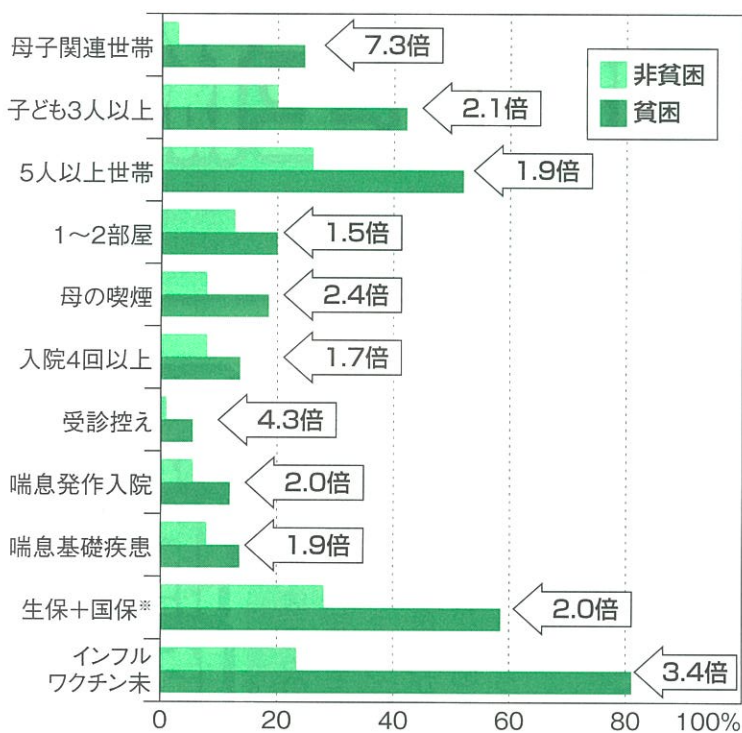
医療生協わたり病院副院長 小児科 北條 徹

二〇二二年の子どもの貧困率が、一六・八%と過去最高で、全ての人口の貧困率二・一%を上回った事が、二昨年話題になりました。そこで、わたり病院など全国の民医連院所の小児科スタッフと佛教大学「脱貧困プロジェクト」の武内一医師らが協力して、「貧困と子どもの健康の関連」について調査をしました。「入院患者」「外来患者」「新生児」の三つの調査を行い、患者さんを、貧困群と非貧困群に分けて比較調査しました。ここでは、わたり病

入院患者と外来患者の貧困群の家庭状況

「入院患者」調査では、民医連小児科十一院所が協力し、二〇一四年度二年間の六百七十五件を検討しました。結果は、図で示したとおりですが、特に貧困群の家庭状況は、母子家庭が多く、子どもの数も多く、母の喫煙が多い状況でした。貧困家庭の子どもは、健康問題では、線

図、入院調査(民医連新聞2016.1.4から)



※生活保護または国民健康保険の世帯

すべての子どもが希望を持てる社会を

子どもの貧困が、健康状態も悪化させ、医療機関受診をも困難にさせている事が、データから明らかになりました。貧困は、教育環境・心の健全な育ちも阻害されるなど多くの要因から世代間連鎖する事が明らかになっています。

山形大学の戸室准教授は、子育て世代の非正規労働者の割合が増加して、低賃金

り返す入院・具合が悪くても受診を控えた・支払い困難・喘息発作での入院・基礎疾患に喘息がある等でし。また、有料になるインフルエンザワクチンの接種率の差は、三・四倍もありました。

「外来患者」調査(二〇一五年二月)では、七百四十四世帯に回答を頂きました。世帯収入が記載された七百十二世帯での貧困率は、二・九%でした。貧困世帯の特徴は、下の表のようにまとめられました。貧困家庭の子どもの状況は、保護者から見ても子どもの健康状態は悪いと感じられる・肥満が多い・学校を休みがち・医療機関の受診を控える事が多い・時間外の受診が多い・インフルエンザワクチン未接種などが、有意差をもって多い事が明らかになりました。

表、外来調査(佐藤洋一, Medi-Wing Vol.64, 2016春号から)

子どもの状況	保護者の状況	世帯の状況
保護者からみた子どもの健康状態は悪い	20歳代、30歳代の若い世代	母子家庭
肥満	現在仕事についていない	2世帯以上
学校を休みがち	非正規雇用	国民健康保険
医療機関の受診を控えることがある	最終学歴は高卒以下	住居は借家
時間外に受診	母親の喫煙	部屋数が少ない
インフルエンザワクチン未接種	現在の生活は苦しく、不幸であると感じている	
	健康状態も悪い	

のものと働かざるを得なくなっている」と指摘しています。

安倍政権の「アベノミクスは、「トリクルダウン」という経済理論を基礎に政策を行っています。豊かな人や企業をもっと豊かにして、その恩恵が貧しい人に「したたり落ちる(トリクルダウンする)」という政策です。今、日本に本当に必要なのは、格差を減らし貧困家庭を無くして、全ての子どもが希望を持って勉強し・成長できる社会です。富裕層のみでなく、多数の国民が希望を持って、働ける社会が必要です。

わたり病院小児科より

小児科では、一般外来の他に、食物アレルギーなどを診断するアレルギー外来、予防接種外来などに積極的に取り組んでいます。予防接種は近年、乳幼児期において複雑化していることから、スケジュール作成のお手伝いもしておりますので、スタッフまでご相談ください。また、救急では、市内で三つの小児救急の二次病院として、夜間救急においても重要な役割を果たしています。小児科スタッフは子ども達の健やかな成長を願って活動しておりますので、心配事などございましたら、お気軽にご相談ください。

小児科外来診療

2016年4月11日(月)から診療体制が変わります(9月末まで)

下表の時刻は診療開始時刻と受付終了時刻を示します。

の部分が、予約無しで小児科一般診療可能な時間帯です。※は、要予約の外来です。

時刻	月		火		水		木		金		土	
	1診	2診	1診	2診	1診	2診	1診	2診	1診	2診	1診	2診
9:00		予防接種※北條			植田	10~						
10:00	植田		植田	北條※アレルギー	植田(福原)▲	北條※アレルギー	北條	植田	植田	10~	松田	10~
11:00										北條※アレルギー		交替※予防接種~11
12:00	~12		~12		~12		~12		~12		~11:30	
13:00		北條※心臓検査		14~								
14:00			15~	北條健診※								
15:00			15~		15~		15~		15~			
16:00	熊谷	北條※アレルギー	福原・大久保△	北條	熊谷	北條※心臓検査	木本/熊谷▽	16~	木本			
17:00		~16:30	~17		~17	北條※アレルギー	北條	北條※アレルギー				
18:00						~18		~18				

☆予防接種は小児科診療時間中に可能ですが、前日17時までにご予約ください。
 ☆電話によるお問い合わせやご予約は、17時までの小児科診療時間内をお願いします。
 ☆当院小児科外来受診が初めてのの方は、遅くとも受付終了の30分前までにはお越し下さい。
 △(火)PM:第1福原、第2・3・5北條、第4大久保
 ▲(水)AM:第1(火)翌日の(水)福原。その他は植田。
 ▽(木)PM:第1・3・5(木)木本、第2・4(木)熊谷

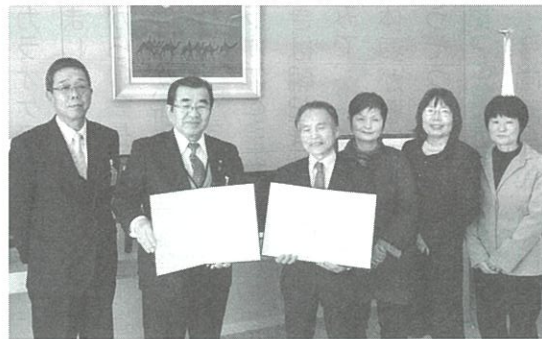


医療生協わたり病院
電話:521-2056(病院代表)

みんなが安心して暮らし続けるために

伊達市・桑折町と見守りネットワーク協定締結

福島医療生協では福島市に続き、一月十三日に伊達市と、二月二十三日に桑折町と



伊達市での締結

見守りネットワークに関する協定を締結しました。高齢者や障害者や子どもたち：誰もが安心して暮らし続けることができるように、自治体と事業所が協力し、見守り活動を行うものです。福島医療生協では伊達市と桑折町を合わせて約百三十の機関紙配布ルートがあり、約千四百世帯に機関紙が配られています。それぞれの配布者の方々がひと声かけながら機関紙を配っていたからこそ、安心も一緒に配る



桑折町での締結

ことができたらと思います。自治体とも協力しながら、組合員の皆さんが安心して暮らし続けられるまちづくりを行っていきます。

ちょっといい話 1 ご主人とのデザートタイム

高齢者住宅ひだまりに入居されている長岡寿子さんは、ご主人の来室が何よりの楽しみ。毎週水曜日の朝は訪問看護師の立会いで搾りたて果汁やミルクコーヒールシユースなどの「味」を楽しむデザートタイムです。主治医の許可を得て、綿棒を舌の上にのせ、味を感じてもらっています。季節の桃やリンゴの果汁の時はとても美味しそう。残ったシユースを飲み

ほしているご主人を、惚れ惚れとした笑顔で見つめている寿子さん。これまで、地域でたくさんの方々と一緒に歩んできたお二人だからこそ「素敵な笑顔」です。これからも、お二人の幸せが永遠に続くように、ひだまりスタッフ一同、力を合わせていきたいと思っています。
(ひだまり事業所群統括管理責任者 松崎暁世)



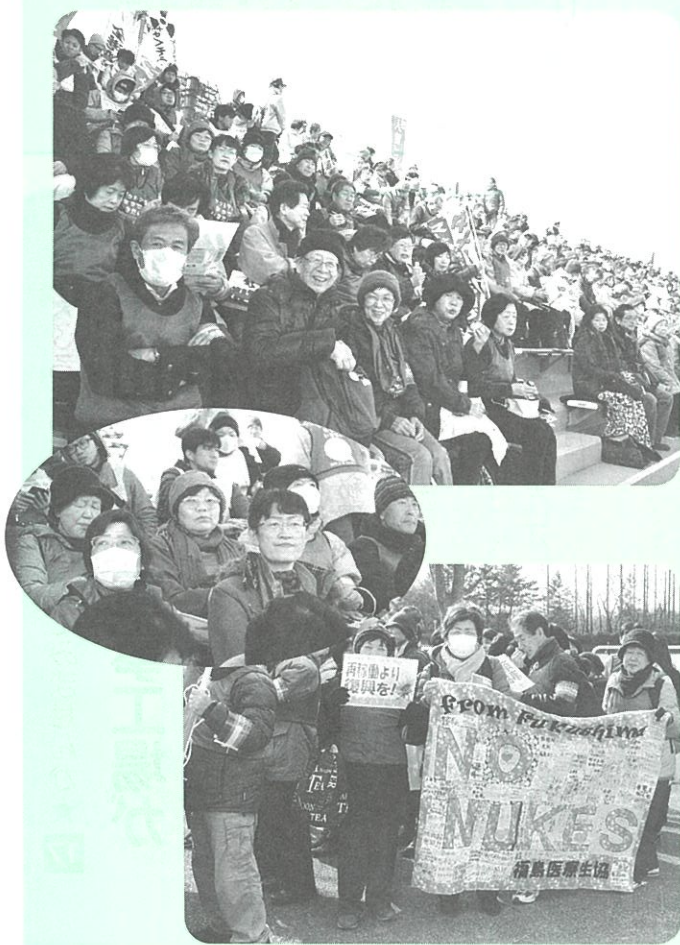
原発のない福島を！県民大集会

三月十二日、県外からの参加者も含め六千人の方々が、郡山市開成山競技場に集まりました。大熊町住民の方、高校生平和大使の方からの発言、鹿児島県からは「ストップ川内原発！実行委員会」の方も熱い想いを訴えられました。「全国からこれだけの方が集まって来た意味は大きい」「デモ行進の時手を振ってくれる方もいた。同じ想いなんだと感じた」「近所に飯館の方が住んでいる。その人たちが抱える不安を何とかしたい。支えあい



が必要」「まわりでも原発の話が少なくなってる。再度強めなくては」「生きている間だけでなく孫子の代までのたたかになる。頑張りましょう」「(高浜原発の仮処分は)国民の世論が司法に

通じた。安倍さんには通じてないが(笑)。これからも声を強めていきたい」参加者からの力強い発言は後を絶ちませんでした。



放射線による健康影響の不安軽減のため、内部被ばく検査を受けましょう。

医療生協わたり病院ではホールボディカウンタによる内部被ばく検査を行っております【お問い合わせ：医療生協わたり病院健診センター Tel.024-522-3446】

わたしの健康、あなたの健康

鳥川平田支部

鈴木 弥四郎さん(八十二歳)
カツイさん(八十一歳)

今回はご夫婦でインタビューにに応じていただきました。

お話しは「共通の趣味」から始まります。

カラオケとミニゴルフ

お二人には何と言っても「共通の趣味」があります。カラオケとミニゴルフです。ミニゴルフは冬場にできなくなってしまうというところで、健康づくりと楽しみづくりのため十三年前に老人会のカラオケ愛好会を立ち上げました。弥四郎さんは初代からの会長として、会の運営のほか、町内の芸能祭にも携わってきました。とにかくカラオケとミニゴルフがあるときは朝起きたときから楽しみで、不思議と足が痛いのも体調が悪いのも忘れてしまうそうです。

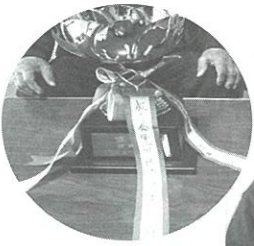
ずっと農業をやってきました

今尚、弥四郎さんは田んぼづくり、カツイさんは野菜づくりに励んでいます。以前、弥四郎さんが脑梗塞で入院したときも、田んぼが忙しいからと、とっとと退院してしまっただけです。このへ

「今後の目標は？」とお二人に聞いたところ、ううん」と顔を見つめ合い、カツイさんが「ピンピンコロリかな？」と切り出しました。お互い笑顔でそれを確認する姿はなんとも素敵です。今年の二月で結婚六十年目の節目を迎えたお二人、どうぞこれからも元気で幸せに。

目標はピンピンコロリ

んは農家が多く、田んぼの上で亡くなった人も何人かいる。私も田んぼの上で死ぬれば本望なんです」と弥四郎さんは笑顔で語ります。



“優勝トロフィー”
弥四郎さん、ミニゴルフはかなりの腕前です



職員(正規職・パート)募集中!

～地域医療をともにささえる仲間を募集しています～

- | | | |
|----|-------|-----------|
| 職種 | ①看護師 | (正規職・パート) |
| | ②介護職 | (正規職・パート) |
| | ③看護助手 | (正規職・パート) |

※②・③はヘルパー2級以上・介護福祉士資格をお持ちの方、歓迎!
資格のない方もご相談下さい
※詳細は下記までお問い合わせください

お問合せ：福島医療生協 総務課 町田 Tel.024-522-1236

看護奨学生募集

奨学金月額

60,000円

対象：看護大学・短大・専門学校(レギュラーコース・進学コース)に進学された方で当生協に勤務する意志のある方

医学生奨学生募集

奨学金月額

150,000円

対象：医学部に進学された方で、当法人も加盟する福島県民医連とともに地域医療を担う意志のある方。

★ふるさとの歴史探してみませんか★

信夫山に地下軍事工場が作られた

蓬萊支部 菅野 家弘

信夫山の地下に金の鉱山を利用して作られた秘密地下工場があった。アジア太平洋戦争も末期の一九四四年、ゼロ戦などを作っていた中島飛行機武蔵野製作所が被弾一九四五年月に信夫山移転を決定して三月に着工した。

高玉鉱山等で編成された専門鉱夫や朝鮮人(千二百人)勤労働員生徒などが工事にあたった。八時間三交替の労働だったという。総面積二万坪、エンジン月産三百台で国内四番目の規模の地下工場となるはずだったが、第二期工事中に敗戦となり中断した。一部では操業も始められたという。

福島東高歴史部が、工場



金龍第二工場北口入り口。唯一、坑口が開いている。(2011年、大内寛隆さんの案内)

内を調査、図面を作っている。又、毎年夏にコラッセで開かれる「平和のための戦争展」では詳しく展示、説明されている。今後整備して戦争遺産としての公開が望まれる。

無料 法律相談会

- 日時 毎月第2木曜日 13:30～15:30
※日には変更になる場合があります。
- 場所/医療生協わたり病院内
事前申込制 Tel. 024-522-1236
- 相談員/あぶくま法律事務所弁護士

INFORMATION

これからの行事

5・6月

どうぞご参加ください

駅前健康チェック

- ◆日時/5月21日(土) 13:30～15:00(予定)
- ◆場所/JR福島駅東口 駅前広場
当日ご協力いただける方を募集しています。

お問合せ：福島医療生協組織部
Tel.024-522-1236

第49回通常総代会

- ◆日時/6月18日(土) 9:30～15:30
- ◆会場/コラッセふくしま 多目的ホール



はなゆまちご利用の組合員さんへ

4月からはなゆまち温泉入浴の際は組合員証の提示が必要になります。組合員証は100円で再発行いたします。申請用紙ははなゆまち、ふれあいクリニックさくらみずと本部にごじます。利用者本人が組合員でない場合は、ご加入の上ご利用ください。